

COMIC BY
林 迺 晴



デビル アトラクション

魔界

ガラム様、
おめでとうございます！

いよいよ
アトラクションが
始まりますね！

ガハハハハ！
いいぞ
もつと褒める！

祝オープン
食ド
ガラム

ガラムハ

オレ様もやっと
出世できた！

ははは

この新天地で
オレが全てを：

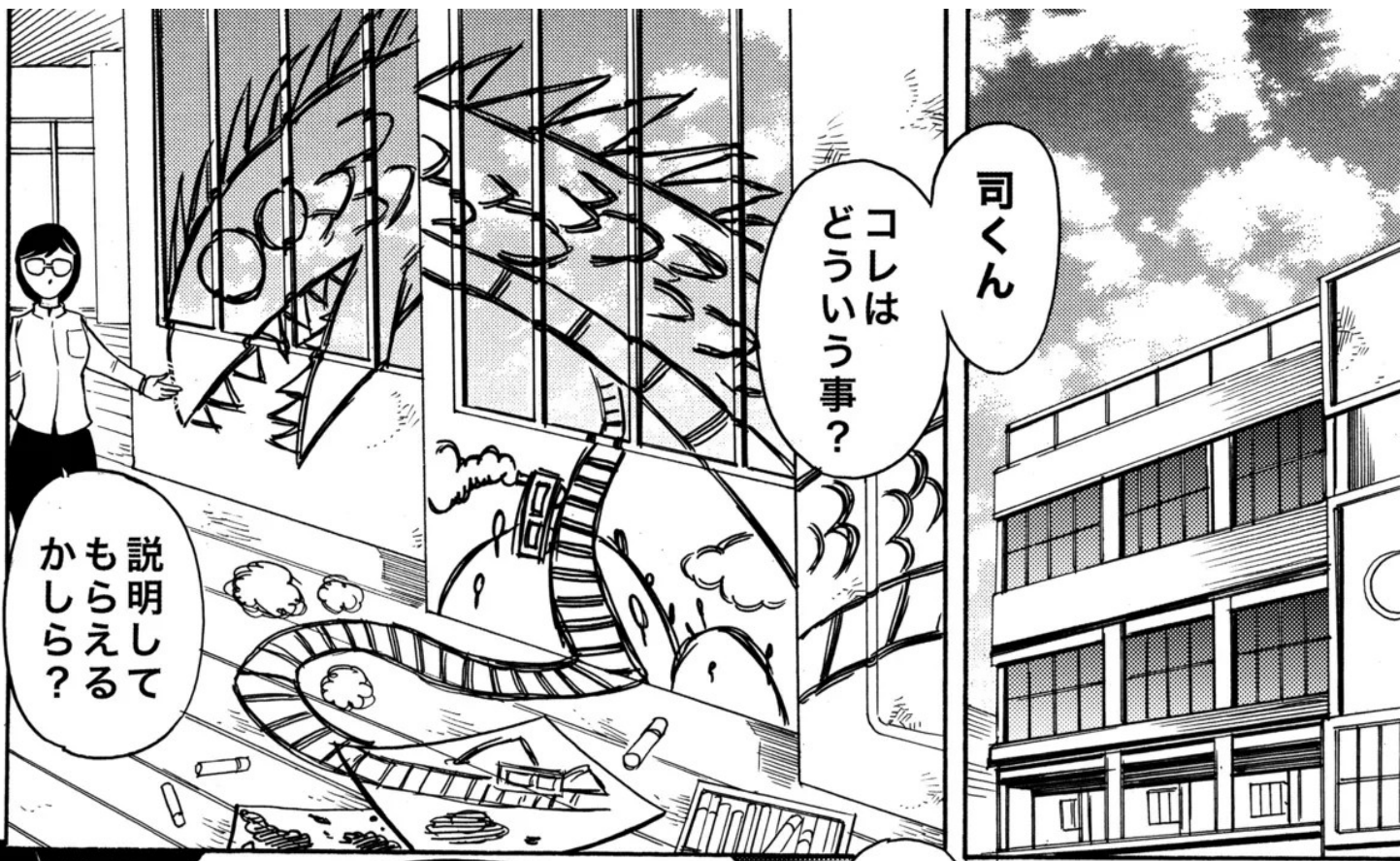
支配するぜ！

人の骨を
爪楊枝に
しないで





デビル
アトラクション



司くん

コシは
どういう事?

説明して
もらえら
かしたら?



俺はただ：
人生に一度
くらい

枠に囚われない
絵を描いてもいい
と思っただけ

そうや つとむ
宗谷 司

それに
「壁に描くな」
っていうルール
もないし…



えー！
またルール追加!?

ルール
34. 壁に
描くな♡

今日から
ありました



ほう



どういう意味、トム？

たかみ はくふう
鷹見白風

つまらない世界だ

大人になる程ルールが増える



好きな物を着る権利は

中学生になると無くなってしまうだろ？



例えば制服だ



不良が制服をアレンジして着る事はあっても

私服で学校に行く奴なんてほとんどいない

小学生の時の「普通」は中学生になると「反逆」になるよ



最近はず、

ゲームが昔ほど面白くなくなっただ感じ



へえ、トムもそんな事で悩むんだ

失礼だな、悩みくらい俺にもあるぜ

そう、例えば？

それ何？

テトリス

面白くない



つまらなくはないけど、なんか変

どんなゲームでも物足りないっていうか

僕達がどんどん大人になってるからじゃない？

そんな浅はかな理由じゃねえよ



Now Printing

なんとなく：俺が追いかけてるものは：

『究極のゲーム』
…のような気がするぜ



きゅうきよく
のゲーム？

何それ？

知らん

遊びながら
探そうか



爪
いや

腕輪……？



ん？

キラッ



そしたら、
ウニコがケツに
戻ったり
食べ物か口から
出るシーンを
見るぞ

……ねえ、トム
その力で世界を
救うみたいな事
はやらないの？

いやだ

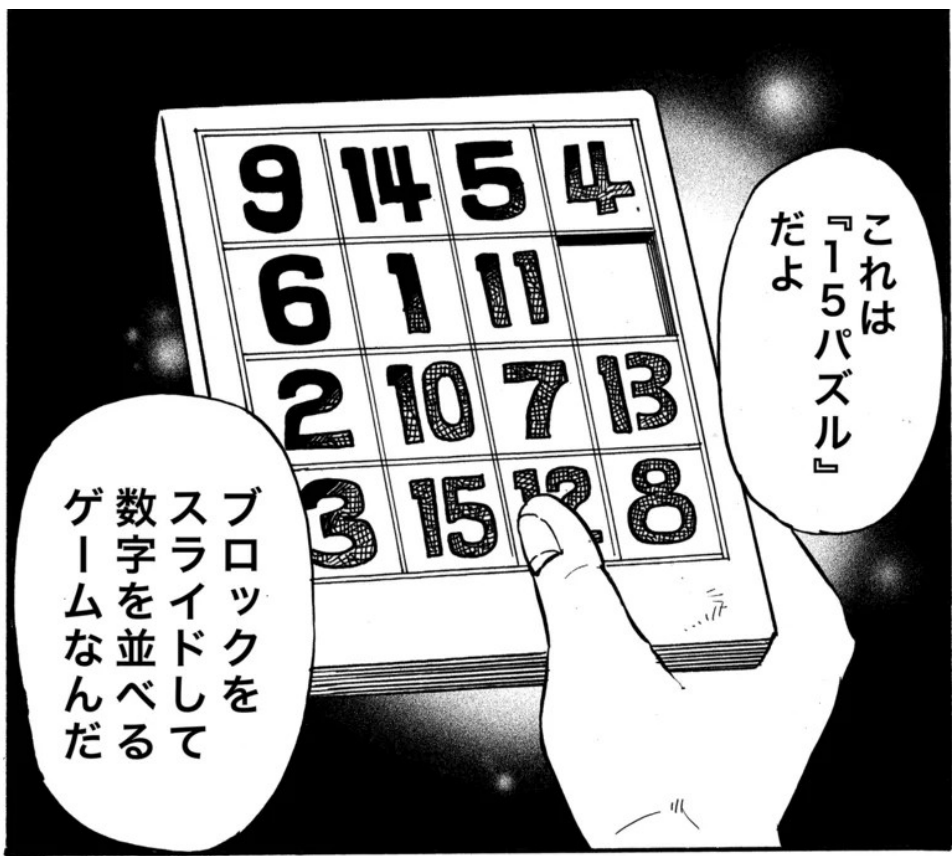


カッコイイ！

不思議な力を
秘めてそう

へえ

例えば……
時間を巻き戻す
とか？



ブロックを
スライドして
数字を並べる
ゲームなんだ





見…

…つけた!!

なっ…



ガルム様！
おかえり
なさいませ！

無くなった
リングは見つかり
ましたか？

あれ？
その二匹は？

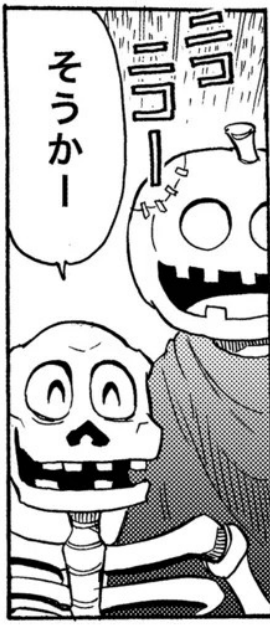


怪物だ！
カッコイイ！！

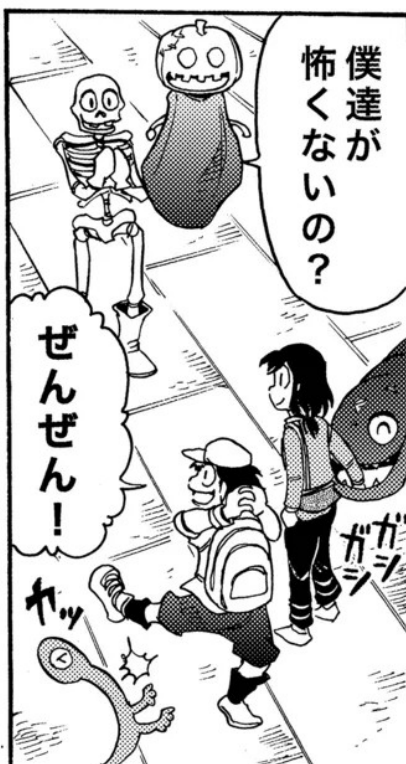
人間の子どもも？
可愛いー



え...？
こ、
これは!?



そうかー



僕達が
怖くないの？

ぜんぜん！
ガッ



ここは
どこだ？

怪物の巣？
モンスターハウス？

人間の言葉で
説明すれば

ここが
『悪魔の遊園地』
です

ここには色んな
ゲームや
アトラクションが
あります

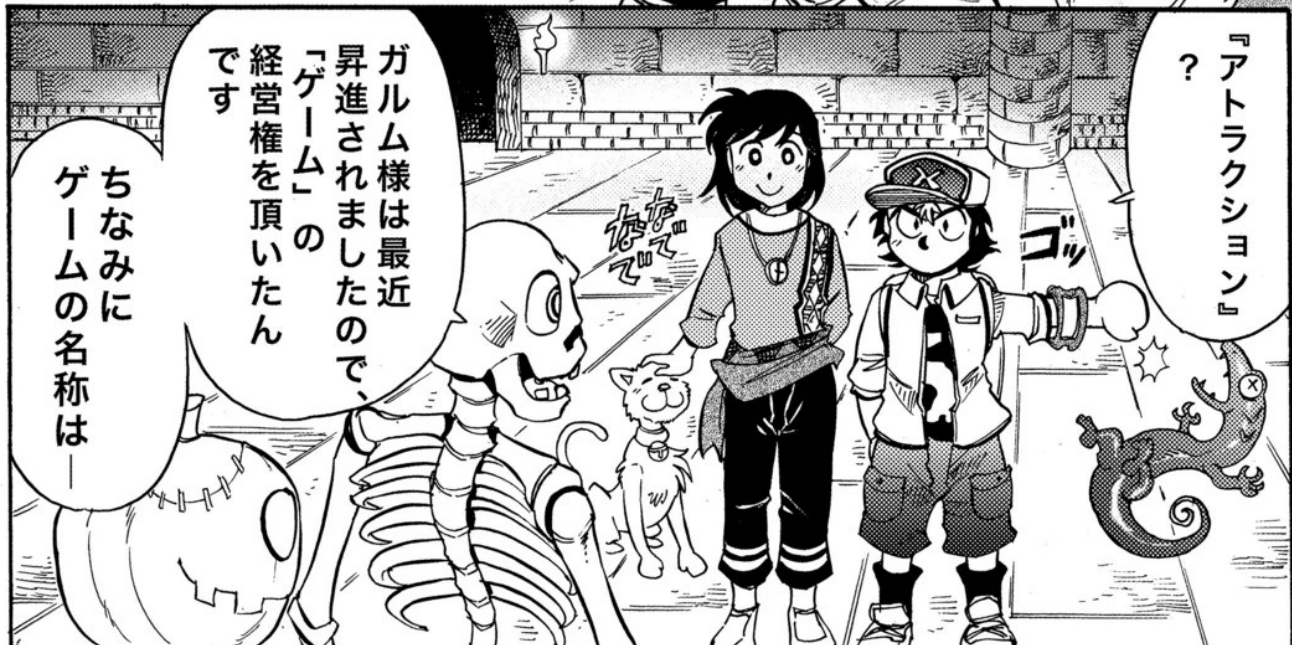
私達は人間を
招待して、
自分の持ち物を
チップとして
賭けてゲームを
行います

悪魔の…

遊園地？

それらの競技で
勝利すれば、
あらゆるスゴイ賞品を
手に入れます！







イテ！わあ、
やめる！

うるせえ！
オレの
リングを返せ！！



最初に付けた者が
魔具の持ち主と
認定される

彼が
同意しない
限り
外せないよ

そ、
そんな…



狼の
おっさん

こっしたら
どう？



へ？



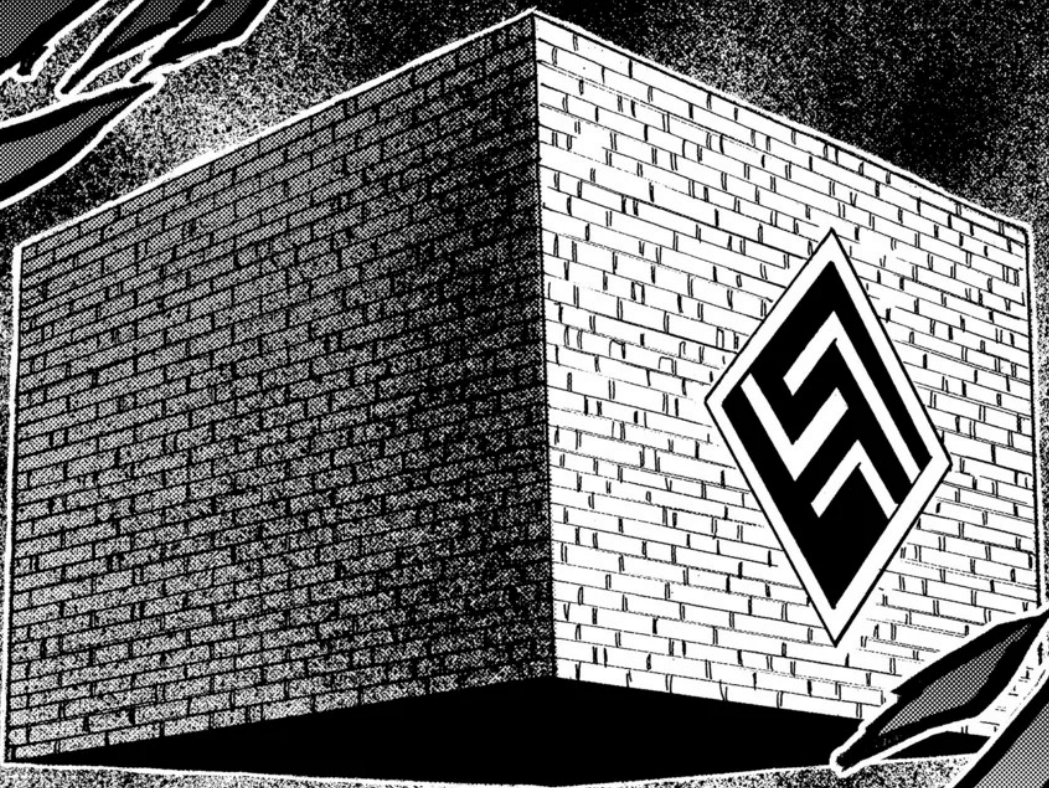
悪魔の
「ゲーム」か…

じゃ、
俺達も
参加できる？

ゲームで
勝負しよう

おっさんが
勝てば…

コレをも
返して
いいぜ





ガルムの迷宮組曲 (仮)

お前の言う
とおり…

この
アトラクション
で

「ゲーム」を
行うぜ

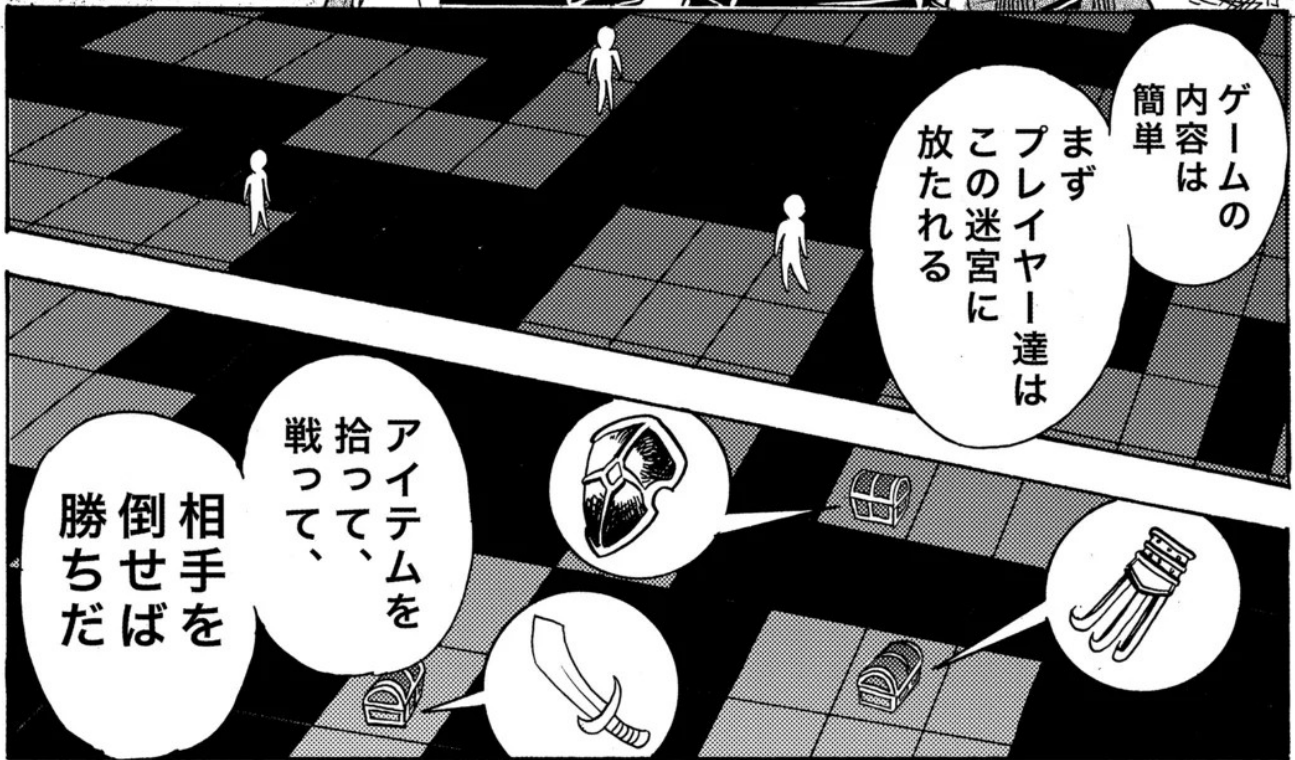


ゲームの
内容は
簡単

まず
プレイヤー達は
この迷宮に
放たれる

アイテムを
拾って、
戦って、

相手を
倒せば
勝ちだ



…ガキ共、
聞いてるのか？

ガキ
じゃねえ

俺は
ツトム

僕は白風
ハックと
呼んでね！

どーでもいいよ、
お前らの名前は

ガルル





魔具がないと
力は使えない

悪魔の力は…
形がない
「抽象概念」を
支配する事

大丈夫？
まだ未完成だろ、
あの
アトラクション

しかも魔具も
ないし

この状態で
君は満足に
アトラクションを
支配できる？



パキ
パキ



ケツ、
ガキ二匹なら
余裕だぜ

こんな
勝負…

一方的で
終わる
だけだ

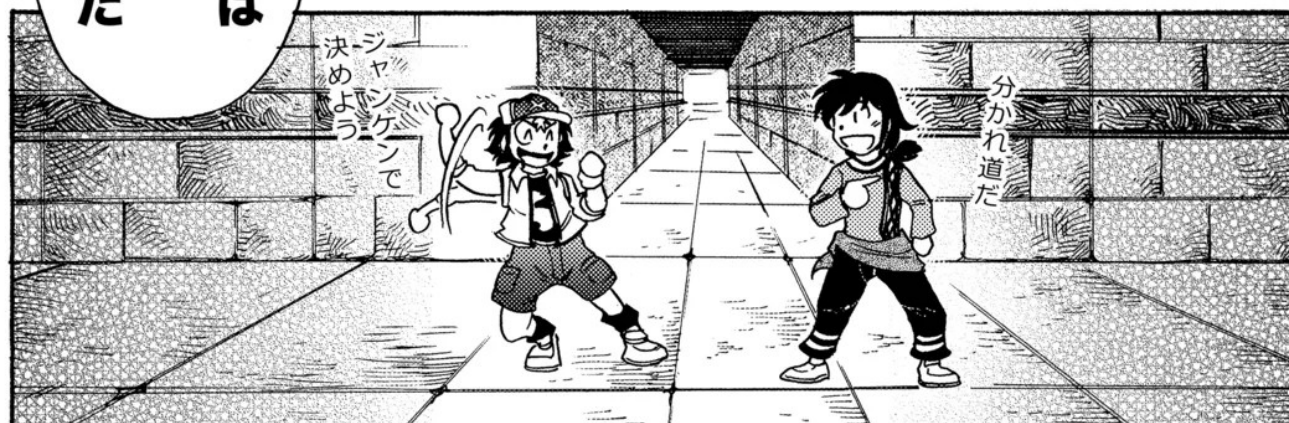
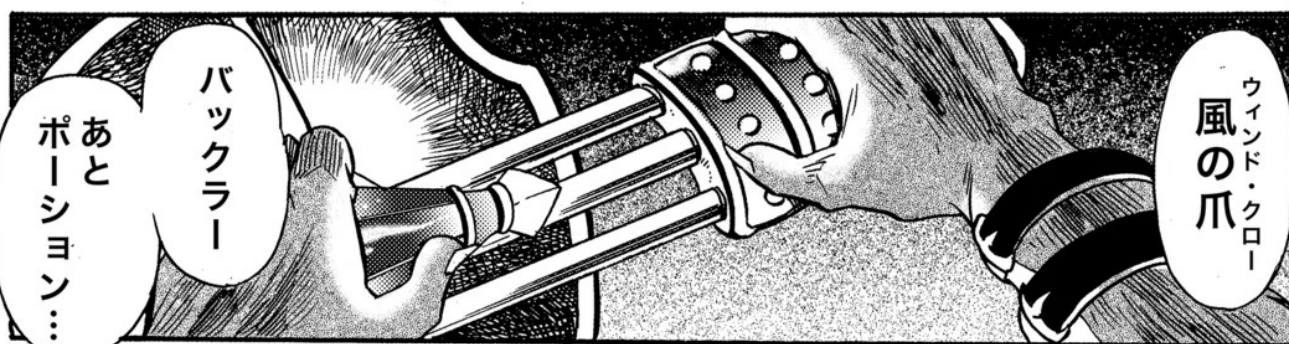
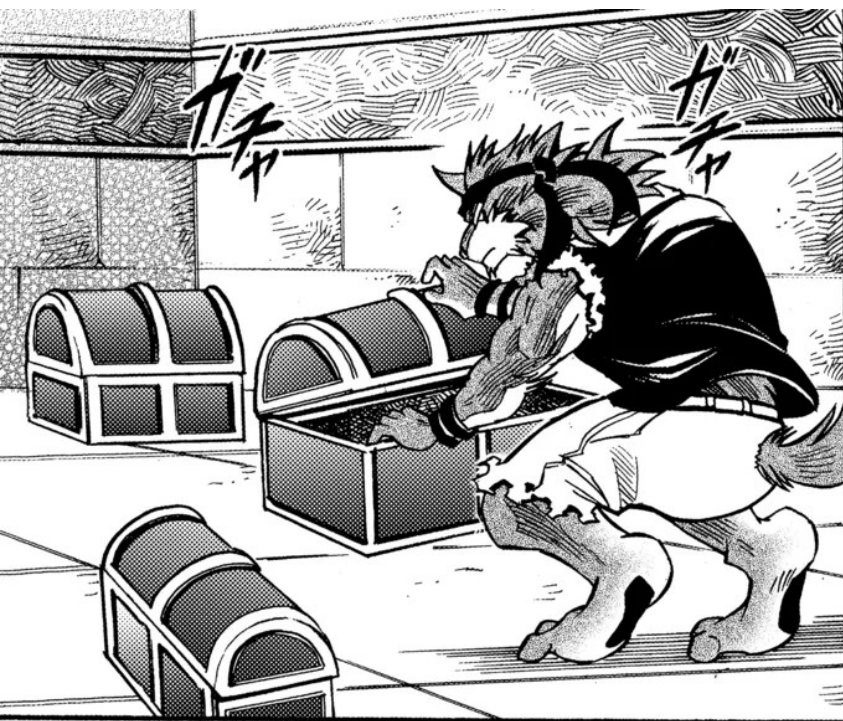


では…

ゲーム
スタート！









?

…変だな

トム、何も
見つからない
よね

たた

わっ!?

おやっ!!



なっ…!



いや、防具まで
手に入れてる!?

あいつ既に
武器…



別の道に
行こう!

他の武器を
探すしか
ないだろ!



トム、
どうしよう…?

：お前らに
拾えるアイテム
もう無い

このゲーム…
実は
『テスト
プレイモード』さ

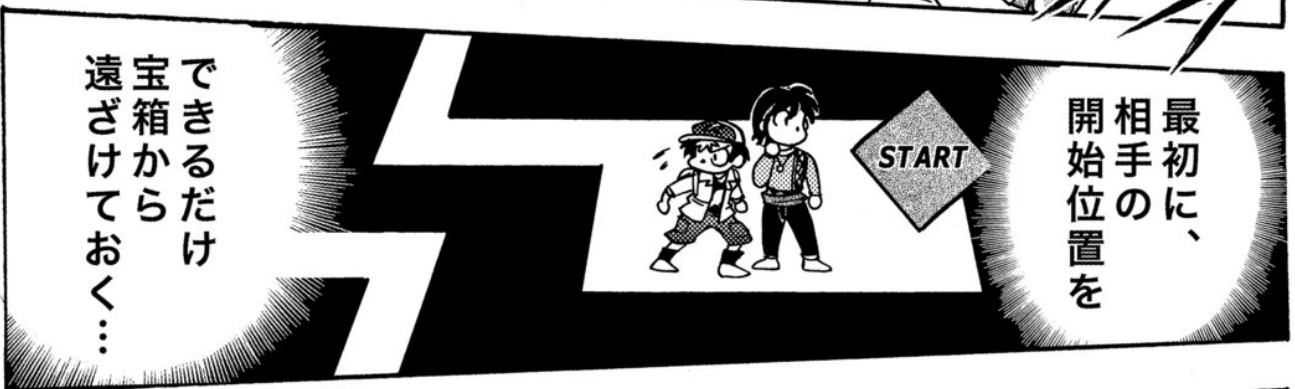


最初に、
相手の
開始位置を

START



できるだけ
宝箱から
遠ざけておく…



Get!

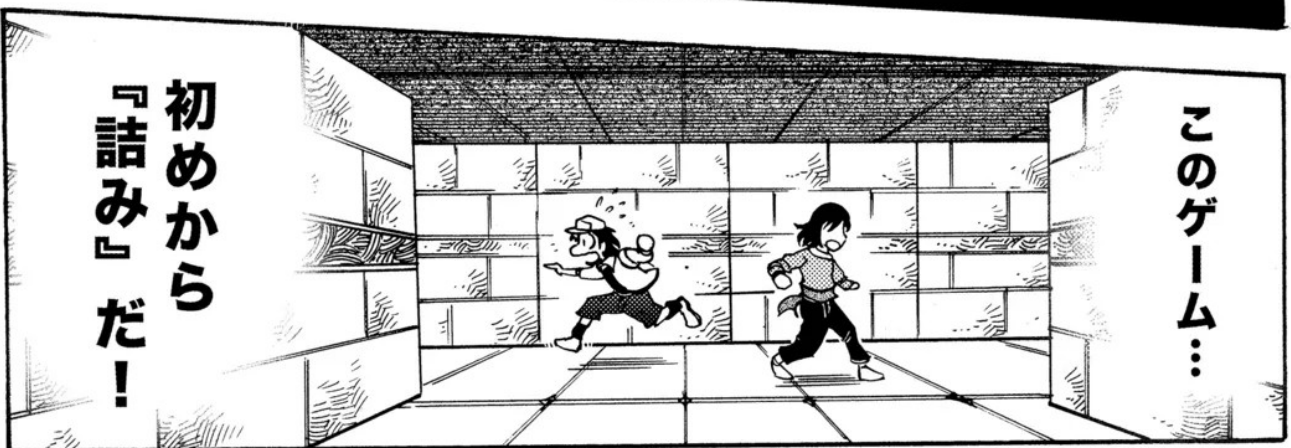
START

そして
自分の位置を
宝箱の側に
設置すれば、
必ず独占できる



このゲーム…

初めから
『詰み』だ！



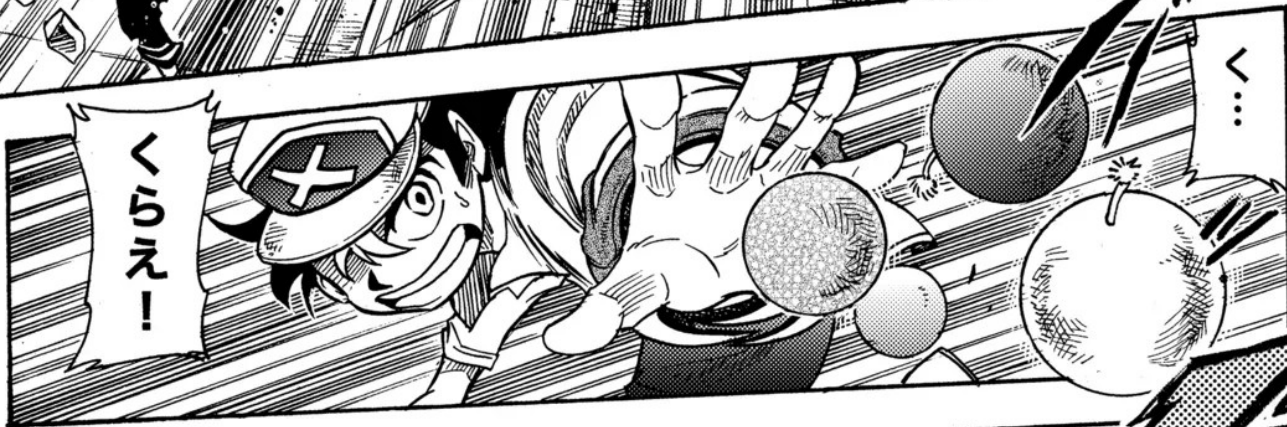


ルールが
必ず公平だと
思うなよ!

うわ!



ガキには
解らねえ
だろ...?



くらえ!

く...



!?



悪あがき
しやがって



けほ

チツ：
こんな物を
持ってたのか

面倒臭い
ガキだな



ちくしょう！

あいつ不正
しやがった！

せめて…
そう



せめてルールを
変えられれば…！！



ふせい？
何を？

しらねえ！

でもあいつは
きつと汚い手を
使ったはずだ！



ホッ

え?



おっと...



グッ



わっ!?

腕輪が...



イツ…？



壁が
動いた！？



ハツク
お前、
何を
した？

ちよ、ちよっと
壁を引いた
だけだよ



!?

悪魔の力は形がない「抽象概念」を支配する事

魔具がないと…

力は使えない



何で行き止まりなんだ？

ここには道があつたはずだが



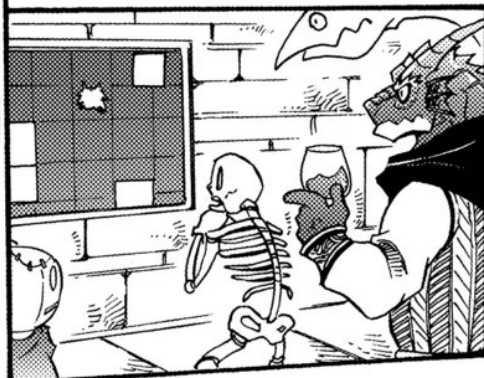




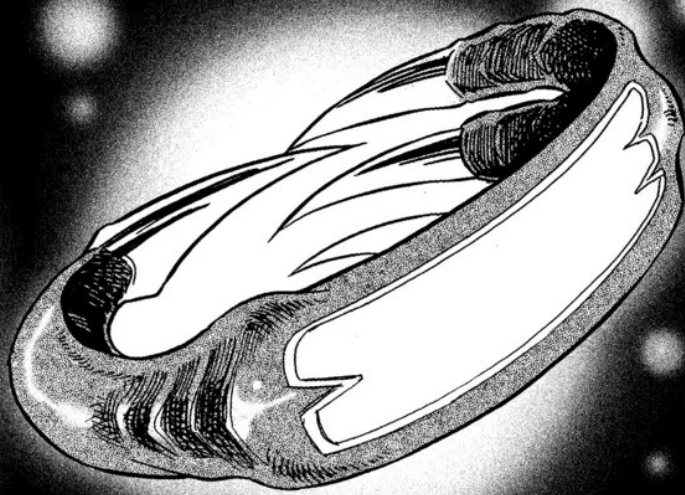
悪魔が支配
できるもの…

ある者は
「幸運」、

また、ある者は
「数」や
「時間」…



ガラムは
「権力」



彼の魔具は
「ルール・リング」

一部の
「ルール」を
支配できる…



壁が
動いてる!?

まさか…
ルール・リングの
力が発動した?

そんな
バカな…

アイツら
使い方も
知らないはずだ!



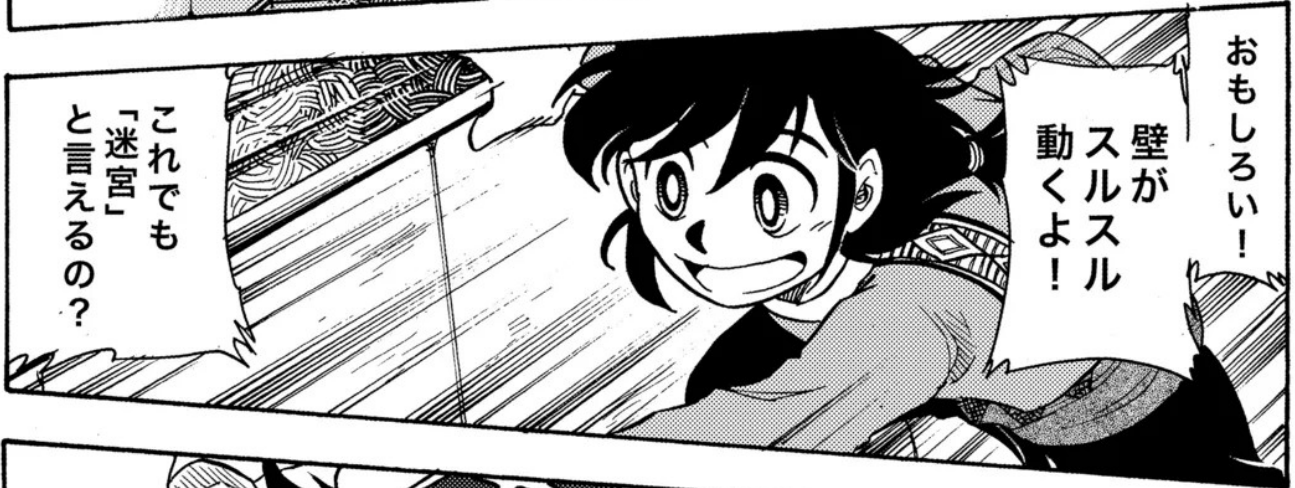
オレを倒せる
訳がない…!

壁を動かさせた
くらいで



いや、
慌てる
必要はない

戦力的に
こっちが
強い事に
変わりはない



おもしろい!

壁が
スルスル
動くよ!

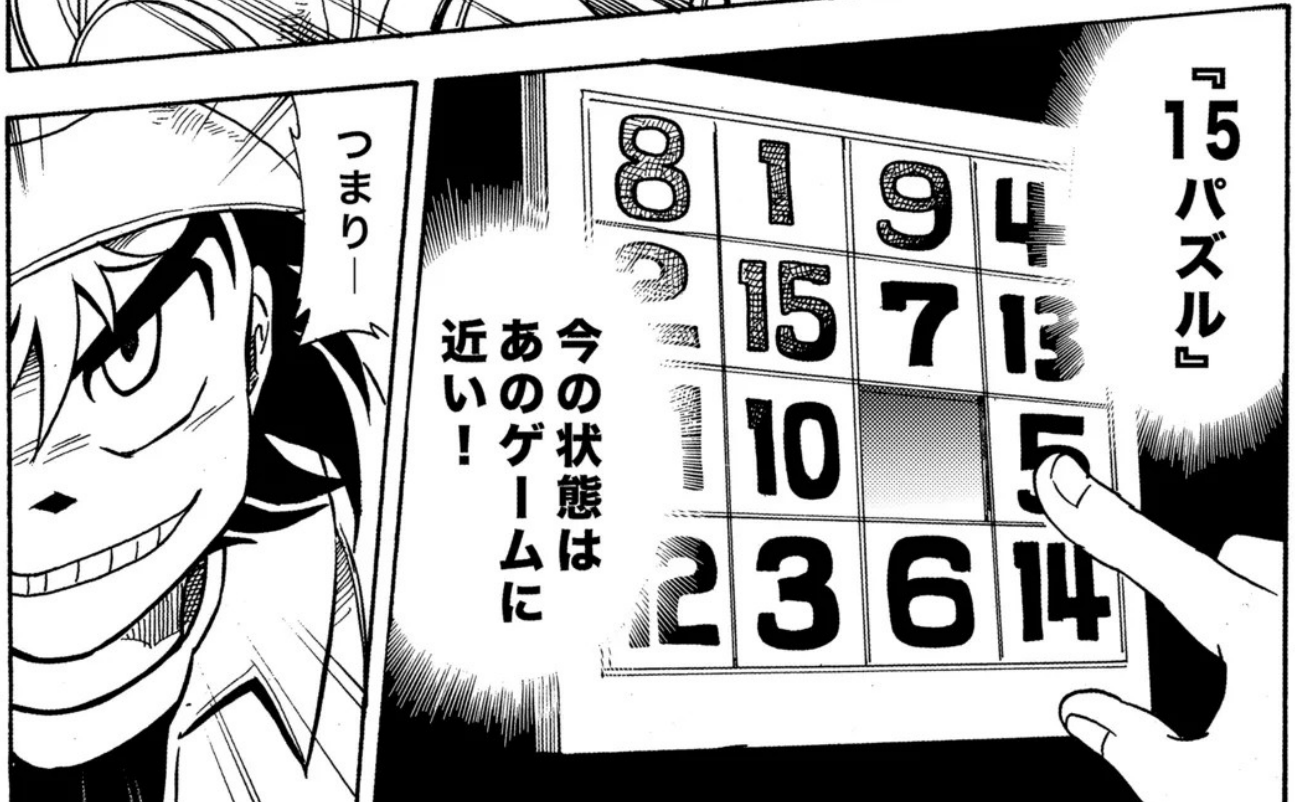
これでも
「迷宮」
と言えるの?



そりゃ…

もう別物に
なったかも

どちらかと
言う…



『15
パズル』

8	1	9	4
2	15	7	13
1	10		5
2	3	6	14

今の状態は
あのゲームに
近い!

つまり—

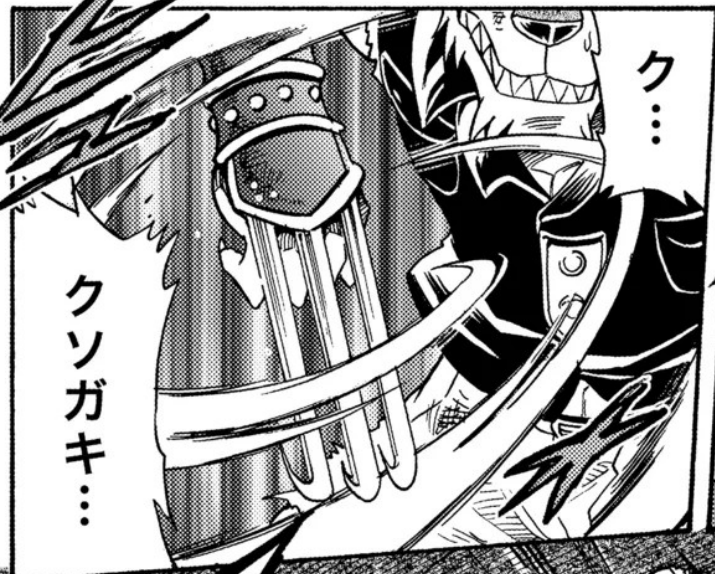
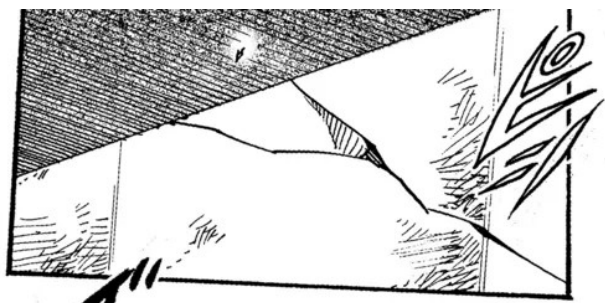
『ルール』が
変わるだけで

違う
『ゲーム』
になる!!



やった!!

ウガ：

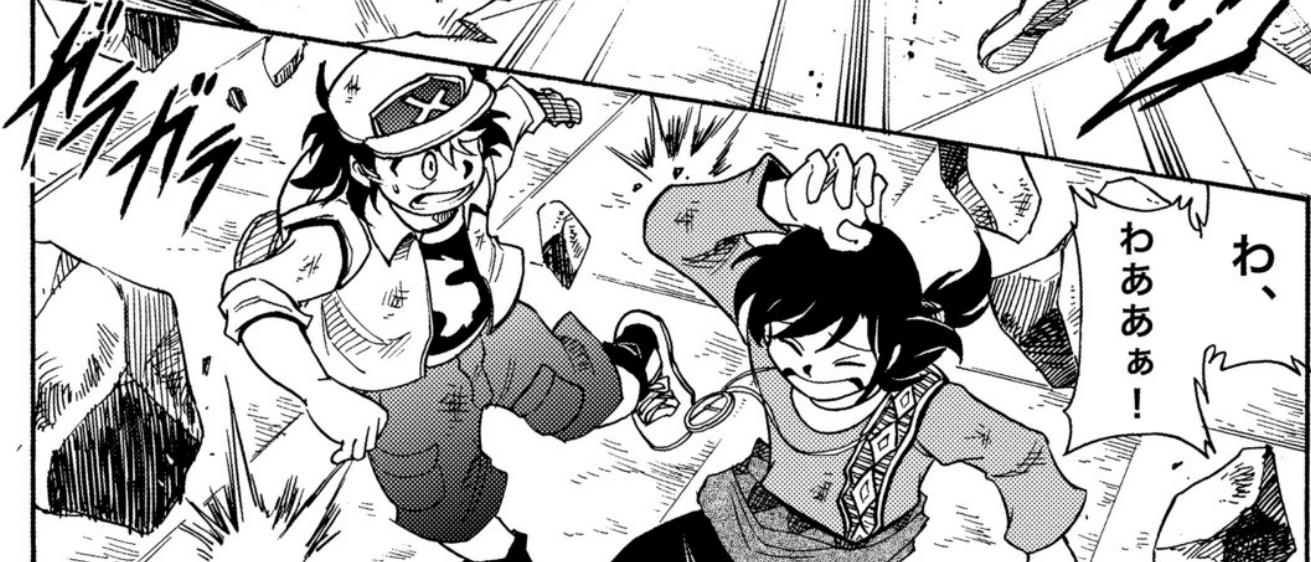


クソガキ...

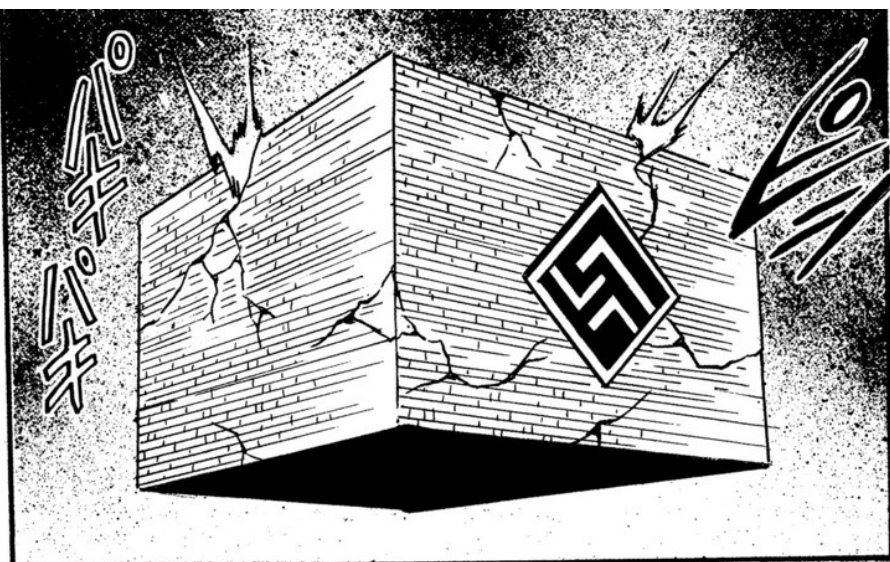


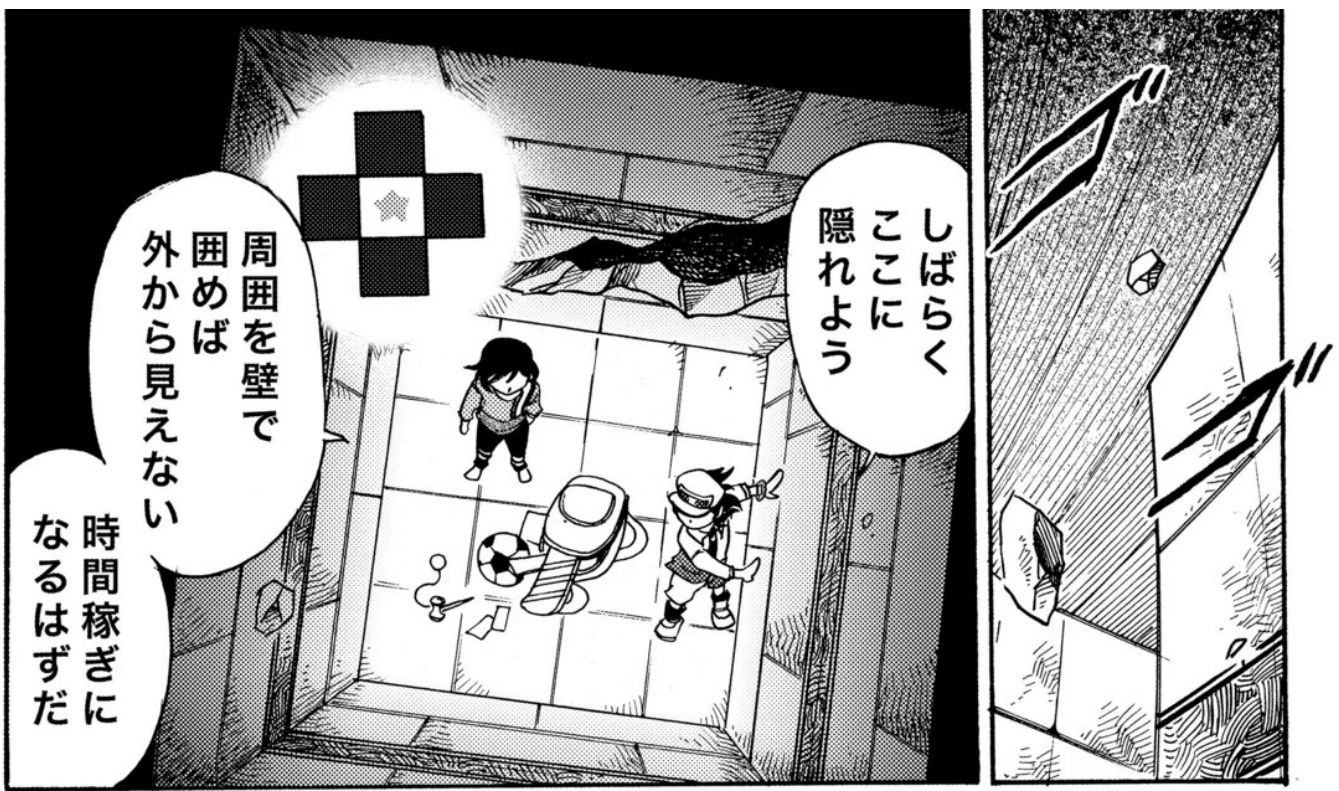
もう

許さねえ!!



わ、
わあああ!







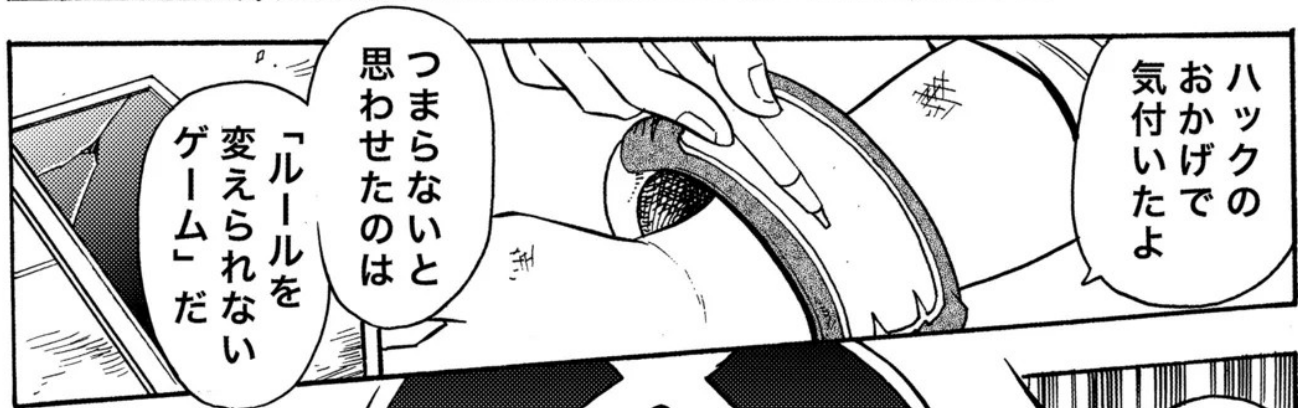


オレがルールだ…!!

お前ら
人間が…

オレに従えば
いいんだ…!!







それが
究極のゲーム!!

ルールは
常に変わる。



あ
あ
あああああ...

テトリスのように
ブロックが一行に並ぶと消える

なっ...
床が...!



ドーン

それは…

大したことは
ないよ

腐敗した権力は
必ず敗れる

あー

ほす
ほす
ほす

俺達が
「冒険と自由」の
心を持っているから

だまれ!

それっばい

結論で

まとめるな!!



ガルム、
素直に敗けを
認めなさい

彼らの勝利は
運の要素も
大きい

だが、子ども
というものは…

元々ルールに
従うのは
苦手だから



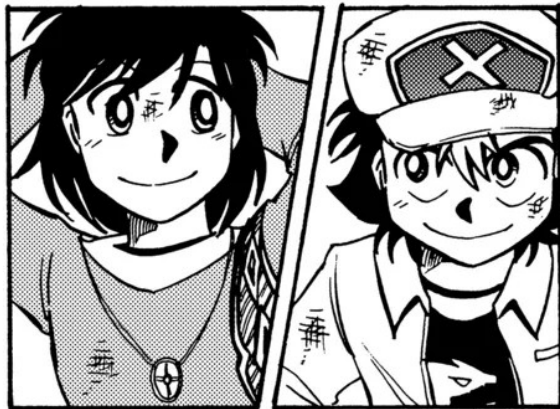
これから
「権力」で
出世したいのなら

色んな角度から
権力を恐れ
人間を理解した方が
いいよ

今回の失敗は
良い薬になったよね

ぐっ…





何が欲しいですか？

賞品を
差し上げま
しょう

君達の
勝ちです



それは
光栄です



この遊園地は
楽しかった！

また
来てもいい？



『デビル
アトラクション』
……

いつでも
君達をお待ち
しております

遠くない未来…

「ルール」を
手に入れた少年達は
この世界を変える
だろう——

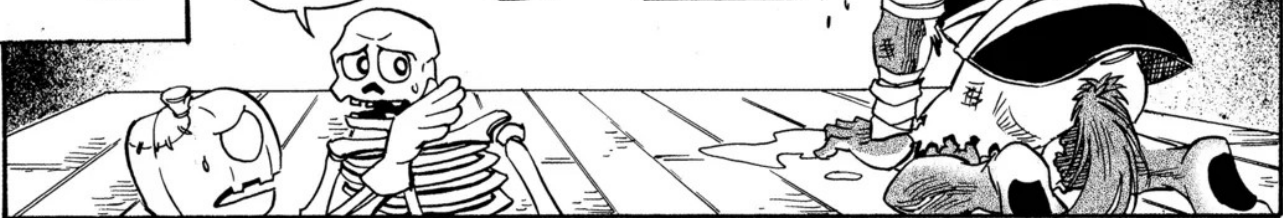


オレの
城が！



かわいそうに、
まだ200年の
ローンがあるのに

——それはまた
別のお話です





デビルアトラクション
読みいただきありがとうございました。

この話は6年前に描いた読み切り。テーマは「ゲーム」。
自分なりのやり方で『遊戯王』を描いてる感じです。

『あらゆるモンスターと色々なゲームで勝負する楽しい物語』
イメージは『永遠に終わらないハロウィン』。
機会があれば連載を描きたい、最優先のシナリオの1つ。

ガルム、スマウグ、トム、ハック、
この4人でワイワイ楽しく遊んでいる物語を
永遠に描きたい。

発行 日2021年10月30日
著者 林 迺晴
メール zisak1979@gmail.com

権利者の許諾なく本書内容を転載、再配布すること禁止です
copyright © 2020 zisak all rights reserved

『レゲルアック』

2
015.12.9